

## 内蔵DAT72 オートローダ（PG-DTA103/PGBDTA103）使用上の注意

このたびは、弊社の内蔵DAT72 ユニット（PG-DTA103/PGBDTA103）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本装置をご使用になる上で、以下の留意事項がございますので、本書をよくお読みの上ご使用ください。

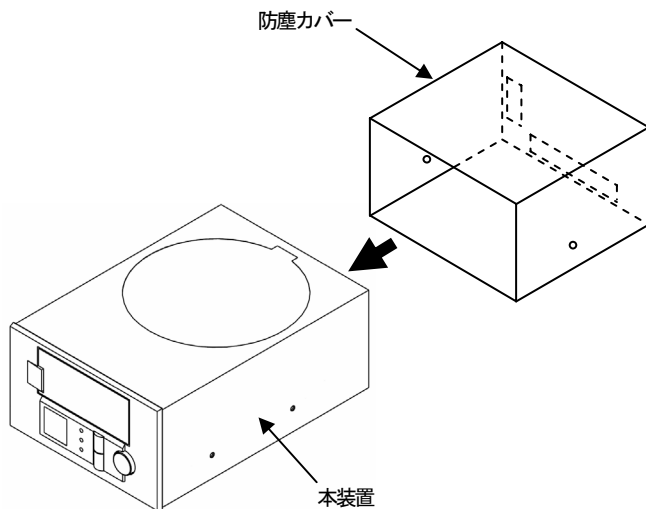
2005年1月

富士通株式会社

### ■ 防塵カバーについて

内蔵DAT72 オートローダ（PG-DTA103/PGBDTA103、以降「本装置」と略記します）は、装置内部へほこりなどが入るのを防ぐために、防塵カバーを装着しています。

本装置をサーバに搭載する際は、防塵カバーを装着したまま取り付けてください。



### 【注意】

- PRIMERGY TX200 ラックマウントタイプに搭載する場合は、CD-ROMドライブを5インチベイの一番下に移してから本装置を搭載してください。
- PRIMERGY SX10 に搭載する場合、防塵カバーの下側を金具に引っ掛けないように注意してください。
- PRIMERGY TX600、PRIMERGY SX10 に搭載した本装置を取り外す場合、装置本体のみを先に取り外し、その後防塵カバーを取り外してください。

## ■ 定期的なクリーニングの設定例について(NetVault for linux の場合)

NetVault で「Slot 6」にセットしたクリーニング媒体を使用し、週に1回自動的にクリーニングを行なうには、以下の設定を行ってください。

1. [NetVault デバイス管理]ウィンドウの[デバイス]タブに表示される本装置(HP DAT72X6)を右クリックし、ポップアップ・メニューから[変更]を選択します。
2. [ライブラリ設定の変更]ウィンドウが表示されます。[設定]タブを選択します。
3. [設定]に表示される本装置(HP DAT72X6)を右クリックし、ポップアップ・メニューから[設定]を選択します。
4. [デバイスの構成]ウィンドウが表示されます。[Cleaning]タブを選択します。
5. 「Automatic Cleaning Supported」にチェックが入っていることを確認します。「Cleaning Slot」に「6」を入力し[OK]をクリックして変更を保存し[デバイスの構成]ウィンドウを閉じます。
6. [ライブラリ設定の変更]ウィンドウに戻ったら、[File]メニューから[Save]を選択して変更を確定し、[ライブラリ設定の変更]ウィンドウを閉じます。
7. [NetVault デバイス管理]ウィンドウの[デバイス]タブに表示される本装置(HP DAT72X6)の下の「DRIVE 1」を右クリックし、ポップアップ・メニューから[クリーニングプロパティ]を選択します。
8. [クリーニング間隔]ウィンドウが表示されます。[日]のチェックボックスにチェックを入れ、右側のフィールドに「7」を入力し、[OK]ボタンを押し、[クリーニング間隔]ウィンドウを閉じます。

※ 詳細については、NetVault のマニュアルを参照してください。

## ■ マガジンの排出について

NetVault 等のバックアップソフトウェアは、本装置のマガジン挿入口をソフトウェア的にロックし、排出ボタンを押してもマガジンが排出されないようにしています。(排出ボタンを押すと LCD に「Media Removal Prevented」と表示されます。)

マガジンを取り出す際は、バックアップソフトウェアによるロックを解除してから排出ボタンを押してください。

例: NetVault の場合

マガジンの排出

「NetVault デバイス管理」で本装置(HP DAT72X6)を右クリックし、表示されるメニューから「ドアを開く」を選択した後、排出ボタンを押す。

マガジンの挿入

マガジンを挿入しチェックが完了した後、「NetVault デバイス管理」で本装置(HP DAT72X6)を右クリックし、表示されるメニューから「ドアを閉める」を選択する。

以上